

平成15年10月28日

各位

会社名 東亜ディーケーケー株式会社
代表者名 取締役社長 山崎 正知
(コード番号6848 東証第2部)
問合せ先 取締役 総務人事部長 登坂 邦秀
(TEL. 03-3202-0211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成15年5月26日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成16年3月期中間業績予想数値の修正(平成15年4月1日~平成15年9月30日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	5,993	21	23
今回修正予想(B)	5,276	253	154
増減額(B-A)	717	274	177
増減率(%)	12.0	-	-
(ご参考) 前期実績(平成15年3月期中間)	5,798	122	67

2. 平成16年3月期連結中間業績予想数値の修正(平成15年4月1日~平成15年9月30日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	6,043	31	33
今回修正予想(B)	5,310	283	171
増減額(B-A)	733	314	204
増減率(%)	12.1	-	-
(ご参考) 前期実績(平成15年3月期中間)	5,863	14	5

3. 修正の理由

当中間期におきましては、大気・水・電子を中心とした「環境ビジネス」への取り組みを軸に「収益基盤の更なる確立」を目標として出発いたしました。公共投資を含む新規設備投資の減少、同業他社との価格競争の激化等当社を取り巻く環境は誠に厳しく、法規制による需要が一巡した煙道排ガス用測定装置やポータブルタイプの残留塩素計の落ち込みが予想より大きく、売上高・利益とも予想を下回りました。

通期におきましては、法規制で本年度末までに設置が義務づけられております環境省の第5次水質総量規制適応の全窒素・全りん計の売上増が予想されますので、まずは、この商戦に全力投球する所存です。

通期予想につきましては、業績予想を見直す必要が生じた場合には、適時にお知らせ申し上げます。

以上